

八名の委員を擧げて 鐘紡工場促進本格化

昨町會後最初の運動方針協議

燃料安其他の好條件を具備して居る關係から有望

の町會に於て議案可決後二、三議員よりの質問に

對し音沼町長は同四ぬ半から之が對策を協議した

が巷説によれば該上場豫定地は谷川南田側でなく

現在廢址の狀態に在る舊品川白煙瓦工場跡を修理

擴張するらしく既に見取圖其他の計画を進めて居

るらしいが、何にせよ平町に設置される事にな

れば地方の爲め大なるものであるので鐘紡工

場設備促進委員として井上、野崎、萩原の三縣議

の外左記五町議を擧げ極力猛運動を起す事なり

終了後町長主に於て第一回の打合會を開いた

佐藤幸太郎、堀喜一、松崎長太郎、小野伊佐治

小松茂

青沼町長上京 音沼町長は右鐘紡工場設置促

進問題が急展開した爲、昨報の出縣議定を變更し

平小糸用務と併せ同社首腦部と會見の爲今二十二

日上京した

第三職員義金 第三小學

研究協議會出席のため出福

日級長代表して町役場に因

碑、籠場の滌等四葉を添へ
提出したが載否は別として
來春は松ヶ岡の寫眞掲載方

を運動する意向であると
より五ヶ月間賃給の百分の

校訓導二十二名一同は今月

より五ヶ月間賃給の百分の

研究協議會出席のため出福

日級長代表して町役場に因

碑、籠場の滌等四葉を添へ
提出したが載否は別として
來春は松ヶ岡の寫眞掲載方

を運動する意向であると
より五ヶ月間賃給の百分の

研究協議會出席のため出福